

(神林地区)

令和2年度の地域包括支援センターの活動と課題について (自由記載)

- 元気応援通所サービス C (委託先: さつき園)
 - ・元気応援かみはやし教室 9月～2月 1コース 20回
コロナの関係もあり人数を減らし4名の参加者であった。少人数であり個別に合った指導を丁寧に行う事ができた。
モデルCに関しては委託先の受け入れなど多くの課題がある為、すぐには行う事ができない。
- 一般介護予防事業 (委託先: 希楽々)
 - ・コロナの影響で9月から開始となった。
 - ・元気クラブ 9月～2月 隔週
脳トレや軽体操・竹太鼓を楽しみながら行っている。来年度から転倒予防教室に元気クラブの内容が組み込まれる為、元気クラブは今年度一杯で終了となる。
 - ・転倒予防教室 9月～3月 28集落にて開催
各集落のセンターに集まってもらい、体操やレクリエーションなどを行いながら、要介護状態の発生をできる限り防ぐことを目的として行っている。来年度からは「脳活性化プログラム」も取り入れ、教室の名称も「みんなで笑おう😊元気アップ教室」に変更となる。
- 総合相談事業
介護問題や物忘れについて、また経済的な問題の相談が多い。
- 権利擁護事業
 - ・困難事例(高齢者虐待等)の対応。
- ケアマネジメント支援
 - ・介護支援専門員連絡会 (年2回)
困難事例についての事例検討会や勉強会を行う事でケアマネや包括のスキルアップを図った。
 - ・ケアマネ支援
- 生活体制整備事業
 - ・かみはやし互近所ささえ～る隊会議 会議 (年2回)
ワークショップを行う予定であったがコロナの影響でR3年に延期となった。「ささえあいカタログ Vol2」の作成と、「かみはやしささえ愛の日」の制定を行った。

R3年度の取り組み (自由記載)

- 元気応援通所サービス C (委託先: さつき園) 9月～2月 1コース 20回
 - ・個別指導に力を入れ、また、教室で習ったことを自宅でも継続できることを目標として行う。教室終了後は次の通いの場へ上手く移行できるように働きかける。
- 一般介護予防事業 (委託先: 希楽々)
 - ・みんなで笑おう 元気アップ教室
介護予防を目的に「運動機能向上プログラム」「脳活性プログラム」を各集落(28集落)対象に開催する。住民主体の集いの場になることも推進する。
- 総合相談事業
 - ・高齢者に関する生活の中での困りごと等の相談
- 権利擁護事業
 - ・困難事例(高齢者虐待)の対応
- ケアマネジメント支援
 - ・介護支援専門員連絡会 (年3回)
介護支援専門員との情報交換会、困難事例についての事例検討会や研修会を行う。
 - ・ケアマネ支援
担当者会議や困難事例
- 生活体制整備事業
 - ・かみはやし互近所ささえ～る隊会議 会議 (年4回)
「ささえ愛の日」ポスター募集(8月)
消防団とのワークショップ(11月)
「ささえあいカタログ Vol13」全戸配布(3月)

